

金城学院で活躍する
先生をピックアップ

Kinjo Spirit

金城スピリット

「金管バンドの真髄は迫力あるサウンドと豊かな響き」と、鈴木朋宏先生。中学1年生で生涯の友となるトランペットと出会い、大学時代は当時日本では珍しかった英国式ブラスバンドで活躍。音楽教師となった今は、培った技術や経験を惜しみなく注いで生徒たちの指導にあたっています。その原動力は音楽へのやまない情熱、そして、生徒たちと音楽の楽しさを共有したいという思いです。



楽器の音色を重ね合い、ひとつの響きにしていく。

小学生の頃は野球とサッカーに夢中で、中学では野球部に入るつもりでした。ところが、中学入学時の担任が音楽の先生で、吹奏楽部の顧問。私が体格がいいからという理由で吹奏楽部への入部を勧められ、入部しました。そこでトランペットにのめり込み、高校ではオーケストラ部に所属。進学した玉川大学では、音楽専攻生で構成されるブリティッシュスタイルの金管バンドに入って、楽器(金管バンドではホルネットを担当)の腕を磨きました。当時、英国式ブラスバンドは玉川大学にしかなく、どうしてもそこで演奏したかったんです。指導して下さる先生は、英国式金管バンドを日本に普及させた功労者で、英国協会からも表彰を受けたという有名な先生。演奏もかなり本格的でした。年に数回演奏会があり、いつも金管楽器とともにある生活でした。音楽教師になってからも、教会などで奉仕演奏として、トランペットを吹いていました。50代後半になった今は、同年代の管楽器奏者と月2~3度集まって金管五重奏を楽しんでいます。一つひとつ違う楽器の音色が重なり合い、そこから生まれる美しい響きがアンサンブルの醍醐味。一度味わうとやめられません。

音楽の喜び、楽しさを感じてほしい。

本校で音楽教師を務めて33年。もともと人に教えるのが好きでこの道を選んだのですが、生徒の中には歌うことが嫌い、楽器を演奏することが嫌いという子が何人かいます。そういう子たちに少しでも音楽を楽しんでもらい、興味をもってもらうのが音楽教師の務め。教師側からの一方的な授業をするのではなく、ひとりでも多くの生徒を授業に巻き込む参加型の授業を行うことで、音楽室に来るのが楽しみと感じてもらえれば嬉しいと思っています。音楽で心が癒やされたり、元気ももらったり。どんな時代にあっても、音楽は生きていく上で大切なものだし、豊かな感受性や情緒を育ててくれます。苦手だった楽器演奏がようやくできるようになったり、時間をかけて説明し「あ、わかった!」と目を輝かせてくれたり。その喜びを生徒たちと共有できる時が教師としてのやりがいを感じる瞬間です。

コロナ禍であらためて感じた大きな力。

中高合同の管弦楽部の顧問とメサイア演奏会の指導も長年に

気がついたら、いつも音楽がある人生に。

トランペットの魅力にはまり、



鈴木 朋宏 教諭

SUZUKI Tomohiro

金城学院中学校
担当教科 音楽

1983年 玉川大学現芸術学部音楽学科卒業

1987年 同大学芸術専攻科修了
(トランペット専攻)

専攻科修了後アメリカに渡り、
ロサンゼルス国際学園で音楽教師を務める

1989年 金城学院中学校に
音楽教師として赴任

金城学院中高合同の管弦楽部の顧問、
金城学院メサイア演奏会の指導も務める

わたくしは務めています。ただ、この2~3年はコロナ禍で音楽活動は様々に制限されました。授業では歌うことができなかったので、歌曲を指揮したり、音符のリズム打ちをするなど、あれこれ工夫して授業を行いました。管弦楽部は特に管楽器に対する規制が厳しく、ほとんど活動ができませんでした。規制が緩和された今は木管と金管に分けて人数を減らし、換気・距離・消毒を徹底して活動を再開しています。

一方、メサイア演奏会は毎年11月23日に開催する本校の伝統行事。本来なら一昨年が70周年でしたが、やむなく中止。昨年(2021年)の演奏会を70周年の記念公演としました。オーケストラも合唱も、そして観客も人数をかなり絞っての公演になりましたが、初の試みとしてライブでも配信。多くの方に聴いていただき、喜んでいただきました。厳しい状況の中でも大きな導きと支えがあったことを実感しました。

定期演奏会、メサイア演奏会、施設への慰問演奏会など、まだまだ思うようにできない日が続いています。通常の活動が再開できる日を待つと同時に、与えられた困難の時を大切に過ごしていきたいと思えます。

教えて先生!

My
Favorite



趣味は、気の合う仲間と金管アンサンブルを楽しんだり、音楽会へ出かけたりすること。もともと体を動かすことが好きなので、休日は愛犬と一緒にジョギングやウォーキングを楽しみます。愛犬(イタリアングレーハウンドの雄)は生まれてすぐに我が家にやってきて、今3歳。足がすごく速いので、いい運動になります。名前はリトラ。毎日の生活はもっぱらリトラ中心に回っています。

鈴木先生の活動アルバムより



2021年11月23日、愛知県芸術劇場コンサートホールにて開催された「第70回金城学院メサイア演奏会」。中高の管弦楽部とグリークラブ、教職員による男声合唱、プロの指揮者、ソリストとつくるステージは、新たな感動をもたらしてくれました。

舞台上で指示を出す
鈴木先生。



開演前の打ち合わせ。



管弦楽部の
練習風景。

